

基山町概要

町域面積: 22.15km²

人口: 17,360人

予算規模: 64.5億円

(H29一般会計当初予算)

財政力指数: 0.69

地方再生C.C.地区概要

面積: 1.069km²

当該地区への主な移動方法:

JR基山駅より徒歩0分

町内全域にコミュニティバス有り

3年間で実施する主な事業

- ① 基山駅前整備事業
- ② 商店街賑わい創出事業
- ③ 健康づくりを意識したスマートウェルネス事業

総事業費: 8.8億円

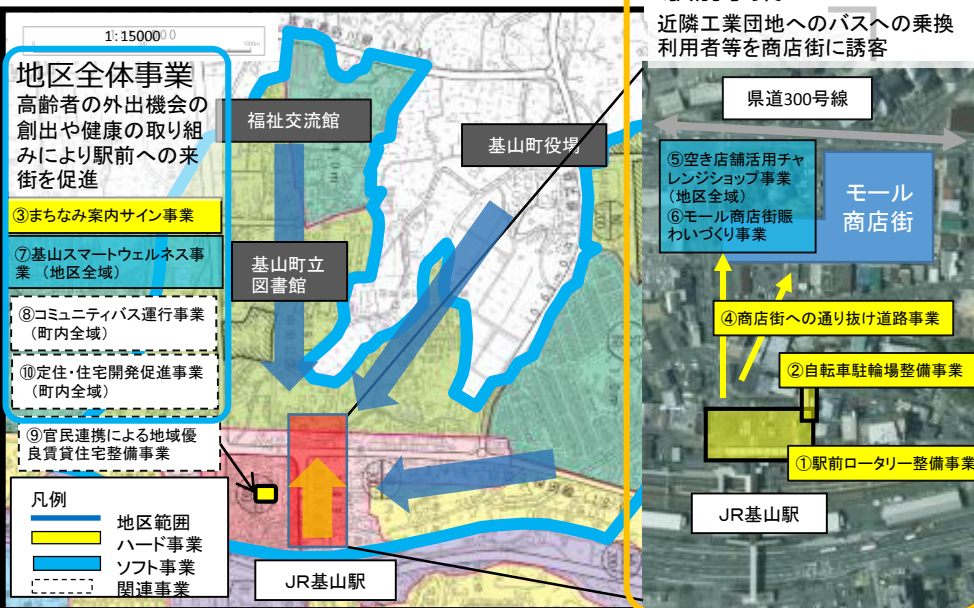
H30年度: 7.6億円(内数)

事業実施地区

○福岡中心部まで約20分というベッドタウンとしてのポテンシャルを最大限活用し、10年後でも人口が増加しつづける勝ち組都市を実現する。

○日常的に町内外から基山駅を利用する通勤・通学者7,000人(町人口の約40%相当)を新たな商圈人口として取り込み、町内の高齢者等をまちなかへ誘導することで、人が行き交う活気あふれる稼げる場に再生。10年後は商店街の空き店舗ゼロへ。

○再生された中心市街地による居住の魅力向上と、多様な移住政策の好循環により定住人口の増加を図り、多世代が同居する持続可能なまちづくりを実現する。



実施事業

主なハード事業

・JR基山駅前ロータリーの整備

工業団地への輸送で混雑するロータリーを整備し安全性を高めるとともに、商店街情報等を掲載。イベントを実施しやすい広場空間を確保



・駐輪場を整備し路上駐輪を一掃。歩きやすい歩行環境を整備し、商店街への安全なアクセス路を確保



主なソフト事業

・基山産の健康食材(エミュー肉、キクイモ)を活用した料理の提供や普及イベント等の開催



エミュー料理

キクイモ

基山マルシェ



・チャレンジショップ事業による新規出店

・スマートウェルネス事業による高齢者の外出機会の確保

事業内容

○駅前周辺を整備し、商店街に行きやすい環境を整備する。商店街では珍しい特産品を活用した商品や飲食の提供、既存の各種教室、福祉施設、シェアオフィス等を最大限活用した来街機会の創出、イベントの開催などにより誘客を図り、賑わいを創出する。(関連事業: ①②③④⑤⑥⑦⑧)

○健康づくりの指針を定め、外出の機会創出、健康食材とスポーツを組み合わせるなど、健康を意識した生きがい創生のまちづくりを行う。(関連事業: ⑤⑥⑦⑧)

○移住政策を進め、居住ニーズに対応する(⑨⑩)

事業効果

○定住人口、3.3%増 (毎年1%増加)
(従前値) 17,360人 → (目標値) 17,941人
(関連事業: ①、②、⑦、⑧、⑨、⑩)

○空き店舗3分の1解消 (毎年3店舗解消)
(従前値) 29件 → (目標値) 19件
(関連事業: ③、④、⑤、⑥、⑦)

○基山モール商店街の入込客数1.5倍増
(従前値) 400人/日 → (目標値) 600人/日
(関連事業: ①、②、③、④、⑤、⑥)

連携体制

○基山町ローカルシェアリングセンターと連携し働く場としての商店街の活用を図るとともに、基山町商工会や(株)まちづくり基山、(株)きやまファームと連携し、まちなかに呼び込んだ人々が楽しめる商店街の企画、運営を行う。(関連事業: ③、⑤、⑥、⑦)

○基山町商工会、(株)まちづくり基山と連携し、空き店舗バンクシステムを構築し、空き店舗の解消を図る。(関連事業: ⑤)

○基山フューチャーセンターラボを活用し、まちづくりを担う人材育成を進める。

○庁内関係各課と連携し、町が行う高齢者や市民の来街機会を駅前周辺に集約。駅前を中心に生活が営まれるよう事業を進める。(関連事業: ①、②、③、④、⑤、⑥、⑦)

持続可能性

○エミュー肉やキクイモといった全国的に珍しい食材を使った料理を提供することで、取扱店舗の売上増や新たな顧客の確保につなげ、町のブランドとして定着させる。消費量が増えることで、生産者の自立化、ジビエ解体処理施設の民営化を図る。(関連事業: ⑥、⑦)

○(株)まちづくり基山は、まちなかに誘導された町内外の老若男女をターゲットとした多種多様なサービスの提供、多様性の受容を意識したワークショップ等イベントを実施し、まちづくりの担い手を育成する。(関連事業: ⑥)

○駅前自転車駐輪場の機能強化に伴う場内整備により、通り抜け道路の駐輪自転車整理に係る人件費の削減及び駐輪場の長寿命化を図ることができる。(関連事業: ②)

佐賀県基山町

都市再生整備計画事業 事業内容

基幹事業 地域生活基盤施設 街なみ案内サイン事業

事業期間 平成30年度
事業費 15百万円
事業内容 デジタルサイネージの設置、区域内の公共公益施設、モール商店街へ誘導する案内板、誘導サインの設置(9基)
整備効果 駅前デジタルサイネージから町内のイベント等情報を発信し、駅前からまちなかへ人を誘導する。

イメージ図



基幹事業 高質空間形成施設 基山モール商店街への通り抜け道路事業

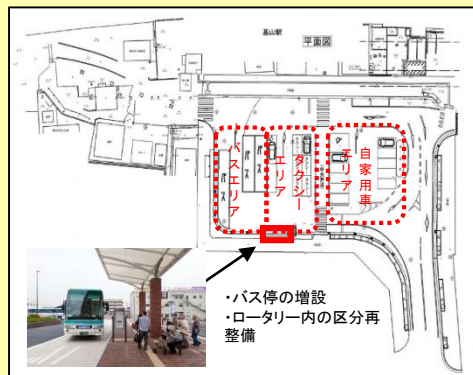
事業期間 平成32年度
事業費 23百万円
事業内容 JR基山駅と基山モール商店街をつなぐ通り抜け道路のカラー舗装
整備効果 駅前空間とモール商店街を視覚的につなげることで、駅利用者を商店街に誘導する。

イメージ図



基幹事業 地域生活基盤施設 基山駅前ロータリー整備事業

事業期間 平成30年度
事業費 32百万円
事業内容 バス停を増設(1箇所)
ロータリー内待機所区分再整備
整備効果 送迎用自家用車、企業用バス、コミュニティバス、タクシー等で混雑していたロータリーを区分ごとに再整備することで、スムーズな流れを作り、ロータリー内歩行者の安全性が確保されるとともに、利便性の高い歩きやすい空間を創出する。



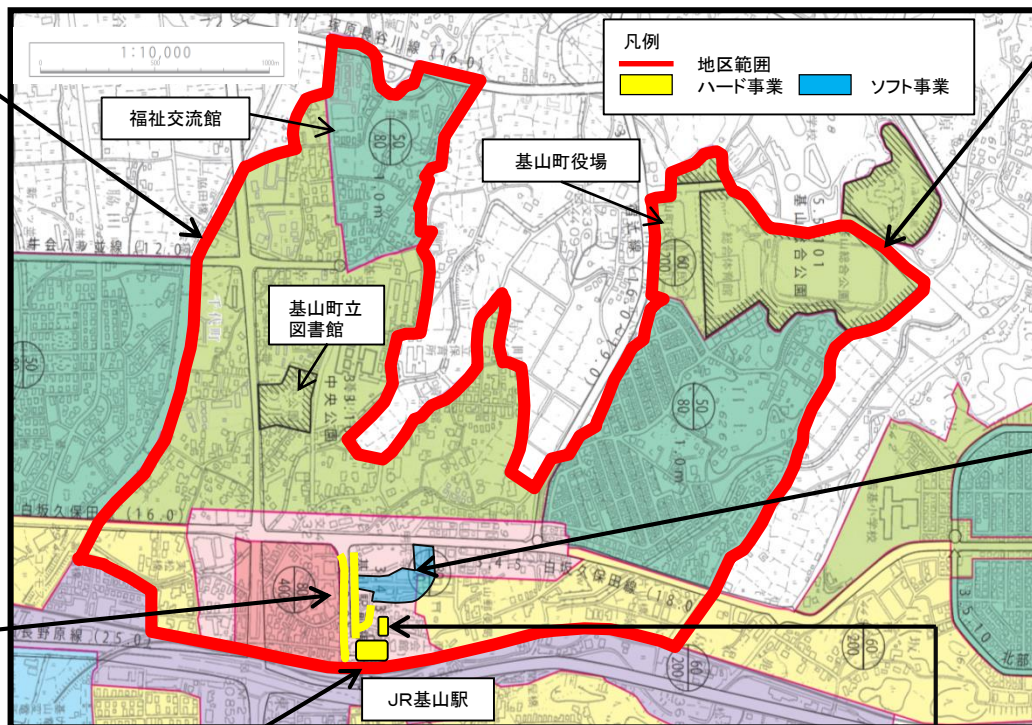
基幹事業 地域生活基盤施設 基山駅前自転車駐輪場整備事業

事業期間 平成31年度
事業費 20百万円
事業内容 エスカレーターの設置、駐輪場の屋根の半透明化、防犯カメラの設置

整備効果 機能的で明るく安全な空間に整備することで、通り抜け道路上に駐輪していた自転車を駐輪場に誘導し、歩きやすい駅周辺空間を創出する。



凡例
地区範囲
ハード事業 ソフト事業



提案事業 空き店舗(空きスペース)活用チャレンジショップ事業

事業期間 平成30年度～平成32年度
事業費 3百万円
事業内容 まちづくり会社と連携し、中心市街地における空き店舗(空きスペース)バンクシステムを構築し、出店希望者とのマッチングを行う。マッチングが成立したものに、一定期間の家賃補助や店舗改修費用の補助を行い出店支援を図る。

整備効果 空き店舗が解消されることにより、商業地としての魅力の向上、賑わい回復を図るとともに空き店舗バンクシステムを活用した継続的な出店支援を行うことが可能となる。

提案事業 モール商店街にぎわいづくり事業

事業期間 平成30年度～平成32年度
事業費 3百万円
事業内容 まちづくり会社と連携し、商店街の中にあるまちなか公民館や商店街のグリーンロードを活用した各種教室・イベントの企画、誘致、運営等を行う。
整備効果 商店街を集う拠点とし、集客を図るとともに、多様性の受容を意識したワークショップ等イベントを開催し、まちづくりの担い手を育成する。

イメージ図



佐賀県基山町

都市再生コーディネート等推進事業 事業内容

目的・期待する効果等

コンパクトシティ事業計画の実施に当たり、全国で多くのまちづくりを支援されているUR都市機構に、事業実施に係る関係者間の調整からコーディネート等まで一貫した支援・アドバイスを受けることで、基山町に全国の好事例を取り入れることができると期待している。

具体的内容

項 目	具体的な内容	平成30年度	平成31年度	平成32年度
⑤	事業実施のためのコーディネート、関係者間の調整			
⑦	事業推進のためのアドバイス			

※実施時期に関しては、UR都市機構と相談して決定する

佐賀県基山町

地方創生推進交付金 事業内容

基山スマートウェルネス事業～コンパクトに暮らそう健幸のまち～

概要：高齢化が進展し特に一人暮らしの高齢者が増加しているなか、地域での孤立化を防ぎ、まちなかへの外出によって健康やコミュニティの維持ができるよう、住民一人ひとりが主体的に健康増進に取り組むための①動機付けや②集う場づくり、さらに③世代間交流等の事業を実施し、健康で生きがい創生のまちづくり(＝健幸のまちづくり)の実現を目指す。

健康に関する指針策定 ・健康長寿社会の実現に向けて、健康づくりの指針を定める。

①外出の促進・・・孤立化を防ぐため外出機会を創出する

- ・健康マイレージ制度の導入
健康ポイント＋健康増進事業＋公共施設等利用 → ポイント付加
- ・まち歩きの契機を創出
(基山駅前ロータリーの再整備、(都市再生整備計画事業))



どこへ

②集う場づくり・・・人と関わる居場所をつくる

- ・公共施設の利用促進(健康マイレージポイントの付加)
- ・中心市街地に集約された商業施設や医療機関の利用促進
- ・モール商店街にぎわいづくり事業 (都市再生整備計画(ソフト)事業)
- ・健康教室、スポーツ教室等への参加の促進
(スロージョギング®教室の実施など)



みんなで

③コミュニティ増進・・・誰もが地域の担い手

- ・健康食材の飲食店メニュー開発促進
エミュー肉やキクイモの普及啓発・・・食べて話して健康づくり⇒消費者
- ・中心市街地でイベントの開催
基山町の特産品を利用したイベント、祭り等を実施⇒参加者
- ・食とスポーツを組み合わせたダイエット合宿の開催等
参加者同士がつながり、自主的な活動の開始⇒実施者



コミュニティ形成による循環型社会へ

健幸のまち基山の実現

- ・健康寿命の延伸
- ・介護、医療費の抑制
- ・商店街等への人出の増加
- ・中心市街地にぎわい再生
- ・住み続けたいまちの形成

★基山町の魅力UP！

★持続可能な基山町の実現

KPI(重要業績評価指標)の設定

- ・定住人口増:200人
- ・スポーツの推進(満足度指数):62.8%(H26)⇒70.0%
- ・空き店舗率の減少:18.0%(H28)⇒14.8%

※スマートウェルネス・・・高齢になっても地域で元気に暮らせる社会を実現するため「健幸＝健康で幸せ(身体面の健康だけでなく、人々が生きがいを感じ、安心安全で豊かな生活を送れること)」づくりの支援体制を構築する。